

01	JOMON渡島ネクストステージ事業2021	カテゴリー	地域資源、産業振興
		関連するSDGsのゴール	   
02	移住・定住促進に向けた地域の魅力発信事業	カテゴリー	移住・交流
		関連するSDGsのゴール	 
03	「北の縄文」魅力発信・ファン拡大推進パワーアップ事業	カテゴリー	地域資源
		関連するSDGsのゴール	  
04	「食彩王国南北海道」スパイラルアップ事業	カテゴリー	産業振興、担い手確保・育成
		関連するSDGsのゴール	 
05	「みなみ北海道まるっと周遊」観光地域づくり強化事業	カテゴリー	産業振興
		関連するSDGsのゴール	  
06	訪日外国人向け環境整備・集客プロモーション事業	カテゴリー	産業振興
		関連するSDGsのゴール	 
07	渡島の多様性を活かした“次世代を支える農業労働力確保”推進事業	カテゴリー	担い手確保・育成、農林水産業
		関連するSDGsのゴール	 
08	おしまスタイル・都市と農山漁村バトンリレー事業	カテゴリー	農林水産業
		関連するSDGsのゴール	  
09	みんなで拓げる木づかいプロジェクト！	カテゴリー	ゼロカーボン、担い手確保・育成、農林水産業
		関連するSDGsのゴール	  
10	ブリの活用連携促進事業	カテゴリー	ゼロカーボン、産業振興、農林水産業、教育
		関連するSDGsのゴール	   
11	渡島管内漁業就業対策事業	カテゴリー	担い手確保・育成
		関連するSDGsのゴール	 



01 JOMON渡島ネクストステージ事業2021

カテゴリ 地域資源、産業振興



JOMON WEEK in HAKODATEで実施したトークショーの様子

事業概要（令和3年）

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を絶好の機会として、渡島の様々な地域資源を効果的に活用した取組を展開し、地域活性化及び関係人口の創出等につなげます。

● 令和3年度の主な実績

関係機関と連携し、縄文遺跡群世界遺産登録記念事業JOMON WEEK in HAKODATEを開催し、縄文の活用につなげるシンポジウムや、縄文に親しんでいただくためのイベントを行いました。

関連するSDGsのゴール



02 移住・定住促進に向けた地域の魅力発信事業

カテゴリ 移住・交流



オンライン移住セミナーの様子

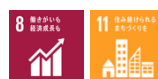
事業概要（令和2年～令和4年）

渡島地域における移住・定住等をさらに促進するため、管内市町と連携の下、首都圏で開催するイベントで地域の魅力を発信するとともに、地元の若年層を巻き込みながらSNS等を活用して渡島の魅力を広範に発信することで、若年層の定着の促進、新たな渡島ファンの拡大につなげていきます。さらに、都市部から地域への移住を視野に、地域に居住して地域活性化に取り組む地域おこし協力隊の活動を支援し、渡島管内における移住・定住の取組の活性化を図ります。

● 令和3年度の主な実績

東京都で開催された「北海道・移住交流フェア」に管内5市町とともに出展し、「移住PRカレンダー」を配付しました。また、渡島地域の市町の知名度を向上させるため、オンライン移住セミナーを3回開催しました。

関連するSDGsのゴール



03 「北の縄文」魅力発信・ファン拡大推進パワーアップ事業

カテゴリー

地域資源



函館駅に掲出した世界遺産PR横断幕

事業概要（令和2年～令和6年）

2021年7月に世界遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」について、地域住民はもとより教育分野をはじめとするステークホルダーへの理解促進や、ファン拡大の取組を一層強化することに加え、次世代への継承を仕組み化するため、函館市内の年長児を対象とした啓発活動を展開しています。

● 令和3年度の主な実績

世界遺産登録決定後に、函館駅や新函館北斗駅など、道南のゲートウェイに世界遺産をPRする横断幕を掲出しました。

ほかにも、地域住民や企業、団体の関心を高め、渡島管内各地域の特色を活かした取組を推進するため、「JOMON渡島ネットワーク」を設立し、各主体が実施する縄文に関連する取組を集約して、当局HPで発信しました。

関連するSDGsのゴール



04 「食彩王国南北海道」スパイラルアップ事業

カテゴリー

産業振興、担い手確保・育成



相談商談会の様子



道南ワインアカデミーの様子

事業概要（令和2年～令和6年）

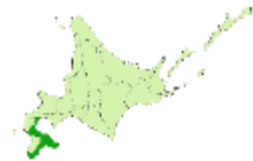
道南地域の独自性優位性のある食の魅力向上をさらに図るため「つなぐ・つくる・かせぐ」をキーワードに「地域内連携」を促進し、食彩王国南北海道ブランドの確立や販路拡大・高付加価値化のほか、ポストコロナに向けた取組や、道南地域のワイン産地化に向けた人材育成に取り組んでいます。

● 令和3年度の主な実績

コロナ禍におけるマーケット変化への対応を支援するための各種セミナー、料理人と生産者をつなぐ勉強会、道南地域のワイン産地化に向けた「道南ワインアカデミー」の実施や、商品の販路拡大に向けた相談商談会「道南食のブランドフェア2021」を開催しました。

関連するSDGsのゴール





05 「みなみ北海道まるっと周遊」観光地域づくり強化事業

カテゴリー 産業振興



青森県と連携し、東北DCに参画した際の様子

事業概要（令和2年～令和6年）

新型コロナウイルスの影響拡大により打撃を受けた観光需要を喚起するため、感染リスクの低い屋外型体験観光の発信など、新しい生活様式に沿った取組を進め、ウィズコロナ時代の観光振興を行います。

● 令和3年度の主な実績

東北DCにおける青函合同での縄文遺跡群を中心としたPRや商談会へ参加し、自動車旅行をターゲットに自然観光等の情報発信等地域内周遊促進を行いました。

関連するSDGsのゴール



06 訪日外国人向け環境整備・集客プロモーション事業

カテゴリー 産業振興



温泉蒸し釜体験の様子

事業概要（令和2年～令和6年）

インバウンドのアフターコロナの需要回復に向けて、3密とならない自然を活かした周遊ルートの造成や、新北海道スタイルを取り入れた受入環境の整備を実施し、準備を進めています。

● 令和3年度の主な実績

インバウンド対応のアドバイザーの派遣や、観光ガイド人材育成研修を行い、受入環境の整備を行いました。また、周遊ルート構築のための外国人によるモニターツアーを行い、外国人目線による課題等を抽出しました。

関連するSDGsのゴール



07 渡島の多様性を活かした”次世代を支える農業労働力確保”推進事業

カテゴリ

担い手確保・育成、農林水産業



農福連携作業見学会

事業概要（令和2年～令和6年）

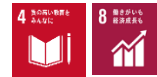
人口減少に対応した農業スタイルを確立するため、スマート農業の普及推進による地域農業の効率化・高度化や多様な人材との連携による労働力確保の取組を進めています。

これまでドローンによるながねぎの生育診断、トマトの環境制御栽培等の実証試験及び先進地の視察を実施し、あわせて、新規就農の受入体制の強化や農業法人の育成、農福連携などの取組も推進しています。

● 令和3年度の主な実績

農福連携作業見学会・体験会を開催しました。
トマトの隔離ベット栽培に係る生育状況調査とスマート農業先進地視察を行いました。

関連するSDGsのゴール



08 おしまスタイル・都市と農山漁村バトンリレー事業

カテゴリ

農林水産業



渡島6次産業化・食育セミナー

事業概要（令和2年～令和6年）

北海道新幹線の開業や歴史文化、食べ物など管内の豊富な地域資源を活かし、体験観光や教育旅行等による周辺農・漁村部への入り込みを各団体と協力し推進しています。

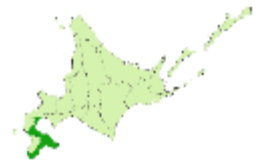
修学旅行生や観光客の受け入れを希望する生産者の掘り起こしや農村ツーリズム関連のセミナー等を開催し、地域での受入体制を整えるとともに、農産物の高付加価値化や地産地消の取組も進め、地域農業・農山漁村の活性化を目指します。

● 令和3年度の主な実績

渡島6次産業化・食育セミナーを開催し、6次産業化の実践事例紹介や食育に関する情報提供等を行いました。

関連するSDGsのゴール





09 みんなで拡げる木づかいプロジェクト！

カテゴリー

ゼロカーボン、担い手確保・育成、農林水産業

事業概要（令和2年～令和6年）

林業・木材産業の理解醸成を図り、道南スギ等地域材の利用を広げるため、商業施設と連携した地域材普及PRを進めるとともに、学生等が地域材を活用したまちづくりのデザインを学ぶ場を提供するなど、地域材のブランド化に向けた取組を行います。

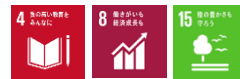


道南スギ森林認証製品等の展示会

● 令和3年度の主な実績

学生や町会など地域の様々な機関との連携による木製品製作ワークショップや商業施設と連携した展示会、木育イベントの開催により地域材のPR等の取組を行いました。

関連するSDGsのゴール



10 ブリの活用連携促進事業

カテゴリー

ゼロカーボン、産業振興、農林水産業、教育

事業概要（令和2年～令和6年）

渡島管内で漁獲量が増加しているブリですが、まだまだ馴染みが薄く、道内での消費量は全国と比べて低迷しています。

管内がブリの一大生産地であることの認知度を高め、また、イカの原料不足で苦境にあえぐ水産加工業者や飲食店でのブリの活用を目指し、平成30年度に、生産者や行政などで構成する「はこだて・ブリ消費拡大推進協議会」を設置し、ブリのPRや新製品・新メニューの開発に取り組んでいます。



学校給食でのブリたれカツ提供

● 令和3年度の主な実績

水産高校や専門学校でのブリを使った実習の支援や学校給食でのブリメニュー提供、管内飲食店やスーパーで一斉にブリたれカツを販売・提供するイベントの開催、道南に誕生した酒蔵「(有)箱館醸蔵」の酒粕を使った漬魚の開発を行いました。

関連するSDGsのゴール



11 渡島管内漁業就業対策事業

カテゴリー 担い手確保・育成



漁業者と就業希望者との面談の様子

事業概要（令和2年～令和6年）

近年の道内・国内における労働者不足の影響により、渡島管内においても、漁労作業員や乗組員等、漁業就業者不足に陥っており、漁業を安定的に継続していくことが困難な状況となっているため、地域の実情に見合った漁業就業者の確保・育成に取り組んでいます。

● 令和3年度の主な実績

函館市内で開催された「漁業就業支援フェアinはこだて」には、漁業の担い手を確保したい6団体（延べ）と漁業就業に関心のある4名が面談に臨み、その結果、2名のマッチングが成立し、現地（漁村）における長期実地研修が始まりました。

関連するSDGsのゴール

